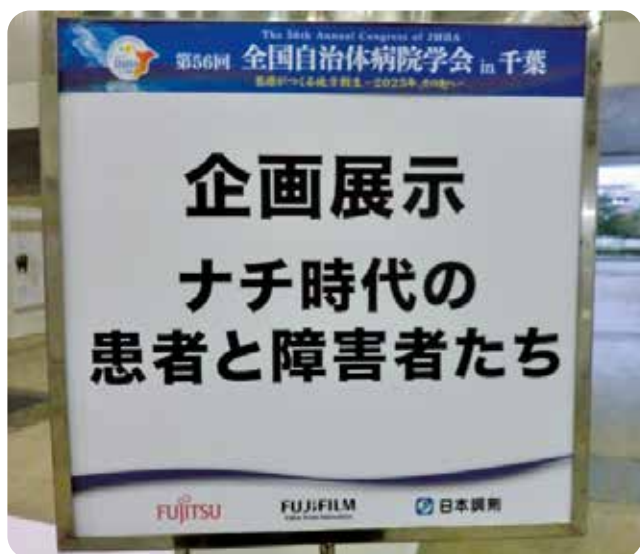




「ナチ時代の患者と障害者たち」 移動展覧会の開催について

平成29年10月19日から20日にかけて、千葉県の幕張メッセにて開催された、第56回全国自治体病院学会の展示スペースにおいて、「ナチ時代の患者と障害者たち」の移動展覧会を実施いたしました。2日間で延べ400人程度の観覧者が訪れ、好評を得ることができました。



Contents

- 「ナチ時代の患者と障害者たち」
移動展覧会の開催について
- 福祉医療相談科について
～各部署紹介リレー～
- 患者満足度調査結果概要
- こども医療センターとの連携
- セカンドオピニオンについて
- 編集後記、その他

福祉医療相談科の紹介



福祉医療相談科は、ソーシャルワーカー 13名（常勤12、非常勤1）と事務担当1名の計14人で構成されています。

主にご本人・ご家族や地域関係機関からの、受診・入院相談窓口としての機能と退院支援やケースワーク、地域生活に関わる様々な相談を幅広く受けています。

また、病棟は担当制となっており、各ソーシャルワーカーが専門性を活かして支援し、ご本人やご家族との信頼関係を築き地域との連携を大切にしながら相談援助業務に取り組んでいます。

お気軽にご相談下さい。

4月から福祉医療相談科に入職いたしました脇正弘といいます。

私の担当している病棟は、急性期病棟と高齢者が多く入院している身体ケア病棟になります。まだ不慣れなことも多く、日々勉強中ではありますが、頑張りたいと思っています。宜しく願いいたします。



相談科の新しい仲間です

相談窓口について

- ◆当院に通院、入院中の患者さん及びそのご家族から、次のような相談にソーシャルワーカーが応じます。
 - ・病気についての不安・心配
 - ・医療費や生活費等お金のこと
 - ・年金や手帳など福祉制度のこと など電話でご予約頂きますと、お待たせせずにお時間をお取りできます。
- ◆当院への受診・入院のご相談もお電話でお受けしています。

相談時間：平日 8:30~17:15

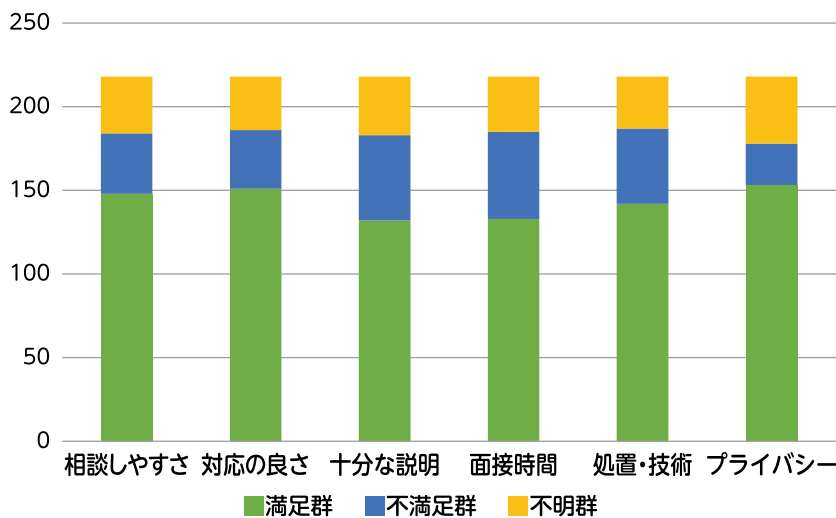
 - ・料金は掛かりません
 - ・秘密は厳守いたします

平成28年度入院患者満足度調査結果概要

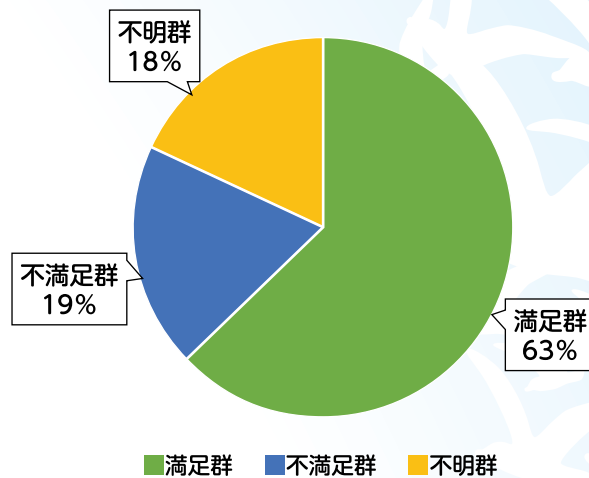
●調査の概要

調査名	調査期間	対象者	回答数
入院患者満足度調査	H28.11.21(月)～25(金)	233	218

医師の対応 (入院)



全体の満足度 (入院)



こども医療センターとの連携について



精神医療センターでは、こどもから大人へ精神医療への移行がよりスムーズに行われる様に、定期的にこども医療センターと共催で事例検討会を開催しています。

今後、両病院の専門性を生かし、より一層連携を深めていきたいと考えています。

合同研修会の様子



～所長によるセカンド・オピニオン外来のご案内～



当センターでは**医療の質の向上と病診連携を目的に**、セカンド・オピニオンに力を入れています。

経験豊富なベテラン医が担当します。**主治医と患者さまの信頼関係を深める**ためにも是非ご利用ください。

【特色】

・岩井所長が担当します。

〔なお、依存症などの専門性の高い領域〕
 に関しては、担当部長が担当します。〕



【予約方法など】

- ・通院先の紹介状が必要です。
- ・電話で予約ができます。
- ・セカンド・オピニオン外来の後、**患者さまに、当センターの所見や治療提案の書かれた返書をお渡しし、照会元の医療機関にお持ち帰り頂きます。**

問い合わせ先：外来看護科

【平成28年度の利用状況】

相談内容の1位は薬の処方、2位はクロザピン治療、デイケア利用となっています。

相談内容	件数
現在の治療方法について	11
薬の処方の内容	6
注射	1
クロザピン治療	2
診断の妥当性	1
治療を続けてもよくなる	1
今後の治療方針	1
社会復帰の方法	1
デイケアを利用したい	2
合計	15

<公開講演・講座開催について>

当センターでは随時、講演会・講座を開催しております。

内容につきましては当センターホームページ（公開講座・イベント）をご確認ください。



センターニュースへのご意見・ご要望などございましたら
 地域医療連携室までお寄せください。

編集後記

先日（10月6日）開催されたストレスケア病棟の見学会では、50名近くの参加者に病棟を見学して頂きました。

『精神医療センターニュース』を通して、皆様のニーズを知り、更なる連携を図っていただければ嬉しく思います。

ストレスケア病棟 伊津野